

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年2月28日

事業所名：あおぞらOlive

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				90%			10%	R4.3月より定員を7名とし、一人一人の状況に合わせた別室での対応や、ゆとりあるスペースが確保出来るようになりました。
	2 職員の適切な配置	○				70%	10%		20%	その日のスタッフの人数をはつきりと知らないの、わからないに○をつけました。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			出入口に数センチの段差はありますが、必ず職員が付き添い誘導を行っています。	70%	10%		20%	入口前に傾斜はありますが必要に応じて職員が介助を行い対応しております。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				80%			20%	プレイルームは物を最小限にし利用者様が安全で快適に過ごせるようにしています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			スタッフ間で情報が周知出来るようラインや報告ノートを活用し情報を伝達・共有しています。					3か月、半年、1年の事業所としての目標を立て、日々のミーティングや振り返りで話しあい、実行出来るよう今後も努めてまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○							さらなる支援の向上のため、外部機関と連携を図り、業務改善に取り組んでまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			県や市が主催の研修に積極的に参加したり、個々でも目標を設定し資格取得に取り組んでおります。					月に一度外部講師の研修を受けたり、障がいや薬について等、事業所内で様々な勉強会を実施しております。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				100%				今後も保護者様、支援者の意見をしっかり聞き取り、取り入れながら、利用者様主体の支援計画作成に努めてまいります。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				100%				利用者様一人一人の実態を把握し、必要に応じて項目の追加や変更を行ってまいります。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			実態を把握したうえで活動の支援方法や参加方法の検討を行い計画の作成、変更を行ってまいります。					利用者さまの実態に合わせて、集団活動と個別の活動、両面で様々な可能性を引き出せる体験が出来るような計画を作成してまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	○			支援計画をもとに支援の統一、周知を行っております。	100%					これまでと同様、支援計画に全員が目を通して内容を把握し個々の目標達成に向けた支援を行ってまいります。	
	5	○			毎月の活動計画を職員間で相談しながら立案し、よりよい活動になるよう努めてまいります。						今後もスタッフ全員で活動プログラムを検討し実施してまいります。	
	6	○			日々のミーティングで意見を出し合い、準備をしっかりと行ったうえでよりよい活動となるよう工夫しております。	90%			10%		様々な活動で個々が参加しやすい方法を提案しながら実施してまいります。	
	7	○			休日や長期休暇は休憩時間を設け、利用者様の体調を考えながらメリハリのある支援を行っております。						今後もその日の利用者様の体調を第一に考え、利用時間に応じた支援を実施してまいります。	
	8	○			ミーティングで意見を出し合い役割を決定し全員に周知しております。						これまでと同様、日々のミーティングで活動内容を把握し、役割の確認、周知をおこない統一した支援を行ってまいります。	
	9	○			ラインや報告ノートを活用し周知しております。						日々、振り返りノートにしっかり内容をまとめておくことで休みのスタッフにも情報共有が出来ております。	
	10	○									日々の支援や利用者様の様子を記録表に記録、保存を行いその後の支援の改善に役立てております。	
	11	○									年に2回のモニタリングに加え、日々の利用者様との関わりや送迎時の保護者様との情報交換で変化があれば実態に合わせた計画となるよう努めてまいります。	
	関係機関との連携	1	○			相談支援専門員と連携を取りながら管理者、児童発達支援管理責任者が参加しております。						利用者様の実態の把握や他施設との連携した支援を目指して担当者会議への積極的参加に努めてまいります。
		2	○									月に1回嘱託医の先生が来られ、健康チェックをしています。今後も利用者様の体調面など相談してまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		○								保護者様を通して連絡を取ったことはあるが、協力体制とまではまだ言えないため今後連絡体制の整備を行ってまいります。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			学校関係者様と情報共有を行ったり、必要に応じて個別に問い合わせるなどし情報共有に努めております。						利用者様に関わる各機関と連携を取りながら今後も安心して通うことが出来るよう情報共有を行ってまいります。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○									他事業所への移行支援のため十分な情報共有と移行後も連携が取れるよう努めてまいります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○									
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○		20%		20%	60%	コロナ禍での交流は難しいと思う。	コロナ禍で現状難しいが今後は検討していきたいと思っております。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			○							
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				100%					今後も丁寧な説明を行ってまいります
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				100%					保護者様からの情報をもとに本人主体の支援計画を作成し丁寧な説明を行ってまいります。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○		今後、研修等でペアレント・トレーニングを学ぶ機会を検討しております。	50%	10%		40%		保護者様も参加でき支援について一緒に考える研修会なども計画したいと考えております。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○				100%				送迎の際に丁寧にその日の様子を伝えてくれるのでありがたい安心しています。	今後も継続して日々の保護者様との関わりを大事にし、共通理解を深めてまいります。
	5	○			ご相談いただいた際にはスタッフ間で話し合ったり、迅速に対応し利用者様の成長と一緒に考えていけるよう知識とスキルを身につけてまいります。	90%			10%		保護者さまからのご相談については責任者を中心にお力添え出来るよう努めてまいります。
	6		○			20%	20%	10%	50%		コロナの影響で数年実施出来ていませんがまた方法などを考え季節に応じた保護者会が開催出来ればと考えております。
	7	○			責任者を中心に誠実で迅速な対応をしております。	60%	10%		30%		今後も誠実な対応に努めてまいります。
	8	○			一人一人の特性に合わせた方法を採用しております。	90%			10%		保護者や利用者様の実態に合わせて、IC機器等も用いて意思疎通や情報伝達に努めてまいります。
	9	○			月に一回あおぞらOliveだよりを作成し日々の活動の様子やイベントの情報を発信しております。	100%				毎月のデイでの楽しそうな写真や壁面が載っており楽しみにしています。	今後もあおぞらOliveだよりを継続し活動の様子などをお伝えしていきます。
10	○			事務所で厳重に保管しスタッフ全員で周知を行い、慎重に取り扱いを行っております。	90%			10%		今後も継続してまいります。	
非常時等の対応	1	○			各マニュアルを策定し、適切に対応出来るよう職員、保護者様に周知しております。	90%			10%		今後もマニュアル等をもとに安全な環境作りに努めてまいります。
	2	○			年に3回の避難訓練を実施しております。その際に、防災に対する意識の再確認も行ってまいります。	80%			20%	避難訓練を実施してくれているのはお便りで知っています。	風水害・地震、両方の避難訓練を今後も実施してまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			外部の研修に加えて、虐待防止委員会前には事業所内で話し合いを行い、意見を出し合っております。						これまでと同様、研修参加と委員会での話し合いを周知してまいります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○									やむを得ず身体拘束を行う場合の説明を契約時に行い、同意書をいただいております。支援計画にも記載しております。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			ご利用者様一人一人のネームプレートにアレルギーを記載し食事形態等も目の届く所へ掲示しております。						今後も継続して職員全員への周知を徹底してまいります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			ヒヤリハットの記入があった際には職員全員で反省点や改善策を話し合っております。						これまでと同様、ヒヤリハットに対する対応を迅速に行い、利用者様、保護者様に安心していただけるよう努めてまいります。

